５（2023）２がい

　　：５（2023）９７（）1800～1940

　　：（かでる2.7　710）

：、、、、、、、

、、、

：、、、、

：がい

、、、

【　】

それではになりましたので、５２がいをいたします。をめますとします。どうぞよろしくおいします。

は、、のにをいしております。をしますのでされるはしていただき、がおにき、ごいただきますよういします。またにしては、めにおをおっしゃってください。それではにあたりまして、がいよりごしげます。

【　】

　がいのです。２のにたりましてごしげます。にはからのがいのにつきまして、のごとごをいただいておりますことに、このをりてくおしげます。では、これまでのにおけるでございますするてのがいのあるがしてでらせるづくりをし、なをってまいりました。のでは、のがいのなをしますがいと、それにづくのなのをします、がいをしたにつきまして、７にしました１のでしをしましたや、なえにづきをいたしました（たたき）について、させていただきたいとえておりますので、からののないごをおいしげます。

また、につきましては、のおえをいただきながら、ですね、９の１６、１７に、でをさせていただいて、のからのごもおいいたしまして、よりあるにしたいとえておりますので、ごごをおいしげます。ではありますが、からのとさせていただきます。はどうぞよろしくおいいたします。

【　】

にのののごと、のをさせていただきます。りってからでございます。

きましてでございます。

でございます。

でございます。

でございます。

でございます。

でございます。

でございます。

でございます。

でございます。

でございます。

なお、ろうの、の、をつなぐの、の、のにつきましてはによりましてのごをいただいております。

いて、ですが、にっております。のでございます。そのにのでございます。にのがっております。またびとしてがいたします。はされているが５となっております。また、にの、りってかいにの、のがっております。これからののにつきましては、においします。どうぞよろしくおいします。

【】

です。ここからはのでめさせていただきます。めに、のと、の、について、からをしてください。

【　】

のです。のとについてごします。については、におりしてありますのりです。は１９をとえております。にのをさせていただきます。は、の、、１「１でのについて」、２「３がい・７がい（）たたき（）」の４つです。さんおにありますでしょうか。おいします。

【】

それではですがにります。３がい・７がい（）のたたきについてということで、よりをおいします。

【　】

のです。からに、１「1でのについて」をし、そのきいて、２「のたたき」についてします。

ので、６からのは、がいとがいをし、したとすることをして、でしていただく、のの、それと、にえたづくりのにして、のについて、やをいただきました。それをまえ、のたたきをしましたので、はの、についてごをおいしたいとえております。のにるに、まずはいただいたやにするやのえなどについてをさせていただきます。

１「１でのについて」になります。いただいたについて、にですが、にすると、のにするやについてのなどにけてをいたしました。まず、にするとして、・などのにえて、・をにりんですべきとのごがありました。それをけまして、、たたきの「の」のでは、なののとして、・もしたいとえています。にをすべきとのごがありました。これについても、たたきの「の」のでしたいとえております。

また、おししたのに「への」というのがありましたが、これがというのだけをげていて、のとべて、なじをけるとのごがありました。

はがいにあったをそのまましいにしたものでしたが、ごのり、のは、えば、のとか、のとかのように、いろいろなにするをしているのにして、というのだけをとしてげているというがありましたので、この「への」のは、としてはしました。ただし、「への」のでりむべきこととされていたについては、のなと、なであることから、ののにしてかすことにしました。にはこのでもしくしますが、などでのをることについては、「の」のとして、また、のやでのなどについては、のとはのになりますが、「との・」というのの、「の」のにりむことでえました。なについてはほどたたきのでれたいといます。またにして、ので、でののについてのをめるとのごや、でもやなどのがとのごがされましたが、これらのも、ほどべた、「の」や「の」で、そうしたをまえてしたいとえております。

に、のでのにせられたご・ごについて、のえをいたします。まずはで、ののについてごがありましたが、これは８のがいのにって、このをに、のを（）としてづけて、をにえたをつくることで、６までにを１２にしてすということで、ろうあとしていたために、から１２にするというものです。

に、にをしているのにえ、をしてしいとのごがありましたが、はのをしてしているもので、のではののみがとされているところです。ではがなにはそのにさせていただくということとしております。

に、ろう・にして、のや・ののについてのごがありました。については、のところ、やむをないなどによってがとめるには、の２４０をえたもめているところですが、のがあることから、にをえてしまうがいるともっております。

またのについては、こちらとしてもとえているところであって、ののや・のなどには、をうことから、、のともしてしていきたいとえております。

に、にして、にるのや、のののごがありましたが、ののがんでいないのつとして、こちらものやなどのがあるものとえています。から、とそれのでのをうなどして、のにめるとともに、などをじて、ののにめているところです。

に、にして、・にするため、をしたをしてほしいとのがありましたが、がっているがをするものであって、がなのをするものではないために、これもとしてのはしいところです。

に、ので、にえ、・をつけてしいとのごにしては、をするにのをえてまいります。

いて、のたたきのをいたします。２になります。まずにしたのは「との・」のでして、このは、は、でいただくではないのですが、ほどしたり、におけるにするでののなど、やなどののにするについては、このにさせたいとえております。なですが、において、によるや、によるののやにおいてもがいにしたがわれるよう、にしきかけます、としております。なおのについては、このではなくて、「の」のの「の」としてりむこととしております。このについてはでまたをいたします。

いて「・のの」にしてです。とですが、４５に・がされたことをけて、のなどによるのや、がいにしたなどのをするなど、このとのについては、ののきぶりから、にしをっております。またの「え」のですけれども、のをここにさせたほか、・にづくをすることをしております。のとしては、「（１）におけるの」「（２）の」「（３）としてのの」のつです。まず「（１）におけるの」ののは、ににあったにえて、にするのをからさせたほか、のについて、たにりんだものになります。なとしては、をしたののほか、にするのやの、さらに、にあたって、のにより、をうことで、のののをることなどをりんでいます。

の「（２）の」のにしては、にはのの「」のののをさせていますが、いくつかがあります。としてはでもしましたが、がいにじたのとして、、、にえて、・をりみました。また、にして、のやなどでのがなでも、なをできるをするため、のをするといったをたにりんでおります。また、「の」にあったのにするをここにりみまして、がするについて、にし、やなど、がいにしたをうようきかけますとしてりんでいます。なとしては、なをして、がいののをること、がいにじたののをること、のもこののとえております。さらに、がい、がいへの、のやなどのをすること、の・について、などともしすることなどとしています。

次の「（３）としてののについて」ですが、これはのの「」ののをそのまましています。としては、くにとしてののをすることをはじめ、のにより、のをけることなどにききりむこととしております。

そのの「にえたづくりの」についてです。このはのではにやなどへのをにしたでしたが、ととのによりするががって、のなもめて、くがいのをするために、のまちづくりをするというがになっています。そのためにのとしては、「（１）まい・まちづくりの」「（２）・のの」「（３）・の」のつのですることとなります。

そこにのととえについては、ののそれぞれのをさせたほか、、ののをしてまとめてあります。「（１）まい・まちづくりの」は、「まいの」と「のまちづくりの」というつのでなっております。のは、のをしてさせています。まずまいのですが、ここでいうまいとは、なのをしており、のや、などはしておりません。そちらののは、ののでりわれることになります。そのため、ここの「まい・まちづくりの」ののとしては、などでののや、がいのあるがみれたでみけられるよう、にるをうこと、へのなへのや、それからなどののなどのをすることとしています。また、のまちづくりののとしては、のまちづくりにづき、ののの、をはじめ、、、などが、にもいやすくなるように、や、のまちづくりについてのやにめるほか、とかとかといったのでするのまちづくりでして、のまちづくりにりむこととしています。また、にのによるへなどのをすることとしています。

の「（２）・のの」についてです。としては「の」「のの」「への」となっています。こちらもにはのをしております。のにするとしては、をにできるよう、などのを、のまちづくりにってすることや、ののなどをきかけることとしています。さらに、やとしてのなど、ののについてすることをりんでいます。などののにするでは、ののにをいています。、の、のやのなどのをりんでおります。また、のへののでは、そうしたが、やでもされるよう、りむこととしています。

に「（３）・のについて」です。は「におけるの」「によるのづくりの」「などにするのの」となっており、これはにはののにえたづくりののをさせています。そので、しているのがにしたとしてのにあったもので「がいのためのななどが、にわないよう、とのによるのにめます」のを、こちらのによるのづくりののにをしております。また、やがしたであっても、は・にされることがなことから、にしては、の４からのがされることになっております。このことをけて、こちらのしいのでも、のとあわせて、のについてもをうことをたにりんでおります。が、のたたきになります。

ののをまえ、たたきから、をして、の３のについては、１０のごろまでをにで、をおいして、としてのをりまとめるでいます。またして、でのや、などでもくからをせていただくです。でりまとめたに、そのやがあったには、のをうがいにるなどして、そのについては、またにごするとなりますのでごください。くなりましたが、のたたきについてをわります。よろしくおいいたします。

【】

ありがとうございました。１、２についてをいただきました。そこで、のからご・ごをりたいと思いますが、いかがでしょうか。のそれぞれのおからごいただければありがたいです。からががりました。

【】

ろうあのとします。ととちょっとざっているんですけども。

つは、とです。のは、のに、の（）がついていました。それはでをつけていたといています。ろうあだけではなく、のこえない、こえにくい、がわからないも、としてがですが、ずっとでいいのか、ちょっとにいます。

（）のをしてほしいです。にっているかどうか、きたいです。がある、はというえでいいのか。ちょっとがありますので、めてえていただきたい。

もうつは、においてののについてです。ののをくと、のないにのこえないどもがまれたときに、こえるはです。そのをするためがってしたいのですが、ただはいので、くがないため、しいというようなもあります。ですので、にあるのについて、なをきたいです。

ですが、ののがありますが、にしみをられているがありました。へかきかけをしてほしいと思います。

のはたくさんあります。とろうあとので、のについてをしていただいております。としては、のがこえないに「がですか？」とか、「いはどうしますか？」「はありますか？」など、ができないときがあります。しでせるのため、していただきました。

次に、っていることがつあります。のですが、ろうあがにっても、がありません。によるのもないといています。もっとについて、きかけをしてほしいといます。があるといているが、これはです。ろうあのとはいますので、ではわからないというがいます。がです。のに、えてほしいといます。

は、のもになっているところがにいです。かあったときに、ろうあは、だけではります。のに、というがいてあります。でもとはちょっとうようながあります。もうしえていただきたいです。

【】

いくつかご、それからのあるいはごがありました。のから、１したいことがあります。のをられるということ、もうしをおらせいただけますか。どういうられがあるのでしょうか。

【】

７０ののののときのはしみ、がなんですけども、がこえないとうとられました。そのをいくつもいております。ちょっとおかしいといます。きかけをしてほしいといます。そういうをいているので、おししました。

【】

はいわかりました。ありがとうございます。かについて、からえられるところ、あるいはとかございましたら、ごをおいしたいんですが、いかがでしょう。

【　】

のです。ほどおのありましたのののや、のですけれども、のについては、ほど１でもしたとおり、そののでしているところですので、そういった、があったということは、こちらからもえていきたいとえております。のもですね、そういったについてのがあるということですので、そのもえていきたいなとえております。

【】

　よろしくおいします。

【】

は、じゃないけどったみたいです。のがこの、「にったからにこう」ってっていました。

【】

、からので、のについてをいただきました。ありがとうございます。からのあります。おいします。

【】

が、にしてはをれています。のいろんなところに、をしています。ではの。「のにもではないけれども、がったよ」っていうことをおっしゃっていたので、ではないかもしれないけど、にっているはずです。あと、ではなくても、えば、とかですね、にってがないっていうところには、こういうようにをしてもらえないだろうかっていうはもしずつうようにしています。

【】

まだまだのあるがたくさんあるのではないかという、ごでした。ぜひこれはべるべきということ、それから、それにどうしていくかというがあるということで、なとしてしていかなければといました。についてのからのごがありましたけれども、いくつかから、がございましたけれども。のところがでしたね。

【　】

のはで６あるんですけども、にされているで、そこからいでおさんがまれたっていうもありますけども、こういったがあったということは、のにそういったがあったということを、えていきたいとっております。

あとほどののですとか、のですけれども、でをて、もちげているところですけれども、ったでそういったをしているところでありますので、ねていまだにっているをきき、していくようにえて、りんでいきたいとっておりますし、のからも、ですとか、そういったところにをげていって、よりよいのにげていっていただければ、そういうでいただければとっております。

【】

からするのは、しはばかられるもあるんですけれども、ほどののののことについては、このがしたときからのきなだったとうんですよね。つまりそういうおさんをえたのがになにってしまうということをどうやってしていくか、あるいはいのでどういうふうにそういうしていくみをしていくかということが、かなり、したではきなだったとうんです。それでぜひこのみづくりというところで、かこういうをしていくような、にらせないようなみというところ、りということを、ぜひとしてして、をしていただければなというふうにのからもおいしたいといます。

それから、のので、でをする、、にえておくようなことが、ろうあとののでんでいるということでしてよろしいでしょうか。

【】

そうです。をして、ににえていただいています。いろいろなをしって、しています。さんとろうあがちよくできるようにしたいとっております。

【】

それはまだまだ、たくさんのがあったり、あるいは、おがあるで、いとして、するといいでしょうね。げていくようなもだというごということですね。

【】

はいそうです。のように、についてえてくれるが、えてほしいなといます。をにして、えていただければとい、おししました。

【】

ありがとうございます。このは、のからは、というくくりになるのかもしれませんが、かごあればおいしたいんですけれども、どうでしょうか。

【　】

でございます。ただ、んなおがされました。のをするのはでありますが、、のにがついたということで、さすがのだなというふうにおをおいしておりまして、あとのさんには、はおいというかですね、それこそくさんにとをして、こういったいもあるんだよというのをしでもめていきたいというふうにえております。ではどこまでけるかわかりませんが、はずとえておりますので、こういったをですね、しでもげていきたいというふうにえております。

【】

からのについては、こういうをする、あるいはしていくというですけれども、よろしいでしょうか。

【】

はい、もうつがあります。

【】

おいします。

【】

のことなんですけども、はついております。がわからない、こえないにするがだといます。はがありません。でをつけるというのは、です。えば、ののときに、がなくなります。かに、でることができるらしいです。・がまっておりますけども、のもにしていただきたい。そのもしていただければといます。のは、ですけれども、・のことをにれていただきたいです。よろしくおいします。

【】

くがあったということで、ごをおいします。からになをもごいただいたり、いただいたんですけれども、の、それぞれのからかこのにわるところで、あるいはにこういういいところもんでいるんじゃないかということもあるとうんですけれど、ごをおいしたいのですがいかがでしょうか。からががりました。

【】

のといいます。よろしくおいします。まず７ののにするをきまして、２の２ページのの「の」では、の・されているが、のとしてはなく、はであるとい、しました。「のや、やで、がなでも、なを・・・」のについてされていることはありがたいといました。３「の」では、「がするについて」ですが、７のでは、には、てがのにされていますが、ののでは４ののうち、のをしていたのは２でした。にはをでもしてほしいと、くしたいといます。また、このの「」についても、「や、がいのにしたをうようにきかけます」とあり、にそういます。ほど、のにも、のとなごもありましたが、にがしたかったのは、ろうはのみきがであり、と（）はがうということです。ですから、にしても、えばがされていますが、やはり、もし、のをて、でをするといいといます。ではできないのなは、ですることができます。に、もしてほしいとおいしたいです。ではのがあるとのことですが、ののように、のごとにでのがあります。、とにのもされているのです。すごいことだといますので、ぜひのでもそういったをめてほしいといます。

ですが、、にてのをしております。もがしたは、ののみのであり、はありませんでした。、を、がとして、しています。２からは、よりがあり、もをするようになりました。のでは、てのがあります。ぜひも、がするということは、ののにもなりますので、のようにりんでほしいとのをいておりました。

【】

ありがとうございます。いただくということで、よろしくおいいたします。からががりました。

【】

のとします。どうぞよろしくおいします。このたたきの、３ののつですね、のおよびのというですけども、「にし、がいのにじたのおよびのについてきかけます」というになっております。で９２３にをするんですが、そのでもとしてているがあります。のなんですけれども、でがするにめられていますが、のについては、３ののによりますと、が32.4％となっております。が77％ということで、かなりいというです。それでのいろんなについて、のについてもきかけるというですが、たしてきかけるというで、このががってくるのかなっていうのがちょっとながあります。それで、もうちょっとかみめないのかなっていう気がありまして、でははのをいてにわってのをうことができるっていうふうになっているんですよね。だからによっては、でにわってもできるんだということですので、それをすぐにやれということになると、しいとはうんですが、こので、えば、きかけるとともにがされていないについては、どうしてそういうができないんだといったのことをすると。そのでどうしていったらができてくるんだろうっていうもえてくるのかなと。そので、のにめていけるのかなっていうふうにいました。それできかけるとともに、がされていないについては、そのについてのにめますだとかですね、そういうもうちょっとみんだになったらいいんじゃないかなというふうにじました。

【】

ありがとうございます。

【　】

なありがとうございます。いただいたをにさせていただきます。

【】

、からががりました。

【】

のとします。よろしくおいします。１と、３といいますか、おしたいといます。

まず１のですけれども、ののです。このをみますと、のにするという、ののがておりますけれども、にどのようなをどのようにしていくか、のをちょっとおきしたいなとっています。ではというものもされていますけれども、それらをでもりれていくというがあるのかどうなのか、そのにおきしたいなとっております。

については３あります。まず１、ほどのののがありました。それでにきかけるときに、としてっていただけたらありがたいなとのが、ので、をしたというものは、でずいぶんされるようになりました。そうするとがれていてもをすることによって、びのというのがつできる、っていけるのではないかなというふうにいます。とはいえごで、のがっていないというところもありますので、そののちょっともしていただきたいなといます。またのに、などでは、なを、でしています。そうしますと、がなについてののもしていただいて、るがなものをっっていくっていうようなこともえていけるのではないかなといます。するにはもかかりますし、がかかるのはわかりますけれども、をきっかけにっていうものがずいぶんになりましたので、そのをえていただけたらありがたいなといます。

２。のと２にいているです。このがちょっとそれるのかもしれません。といいますのは、こののをますと、のですとか、のことについてののがちょっとているんですけれども、がいのあるのをするっていうで、にをれていただけたらありがたいなとっています。にはのはがいです。のとしてをているときに、からのなはです。がとにいないときに、はがているけどがわからない。がみでってきたときにると「ぎているわ」というようなことで、がされないです。それから、はそれをてしなければけられないっていうはあります。そこをするためには、をにえるっていうをえていかなければいけないだろうといます。また、にいくと、がいはにきます。そうすると、の、はがいはありますけれども、のについてはがいがないので、がまだしっかりしているときでも、にをかけないんですね。きをえてしているも、きをえられてってくるとかで、でできないようながあります。それからのもがだなとうこともあります。またにおいては、でまっているかとうんですけれども、えないのにをしなければができません、ができません。やはりえないででをくっていうことにして、かなりがつくんですけれども、それでもは、ですのなんです。ですから、というきなので、にわるようなで、がいのをるということで、のにわるについても、らかのをしていただけたらありがたいなとっております。

そしてです。・ののということです。まずというものがありますけれども、のにくと、９０センチしかはしませんということです。をしようとすると、はのをかなければいけないです。それから、にってかぶりにってくると、をれているんですけど、そこのにのがあってけないんです。そうするとのをおいしても、れてもれられませんから、やはりするもです。そのようなことがにありますので、えばがいのある、それをしていいよっていうところであれば、そこののをにするとか、そういうことがえられるのではないかなといます。これはのなので、でえていただきたいんですけど、は、のりりをする。にをってるは、ですので、とでです。それからがいのもえないというようなことがあります。のり場のがにだなといます。きみをき、そしてのかはをしっかりするということで、がいのある、のもめて、がているとか、もですし、がいのあるもしてにられるようになるのではないかなというふうにいます。についてはおがないというにいですけれども、やはりのをまずるというでまずしっていうところからやっていただけるとありがたいなというふうにっております。

【】

ありがとうございます。になをいただきました。のでにこういうというものがきていくために、どういうでこういうきぶりにしていけばいいのかというところを、ぜひしていただければなというふうにいます。あの、されたところ、の、のというところでかありますでしょうか。

【　】

のです。ほどのののというがありましたけれども、では、「がいのあるへのとのための」をしておりまして、そのでそのにつということで、えばですとか、、ですとか、あと、などのなど、にもいろいろあるんですけども、そういったをいて、こえないですとか、えづらいのためのそういったにつようなっていうものをこちらでりげているところでございます。

【】

の、あるいはそういうというところを、としてやっていくということでしょうか。

【　】

はい。あとほどのですとか、、のりりというところもあるんですけれども、そのながあるということも、のでえていかなければいけないということもあるんですが、では、のまちづくりのっていうのをちげているで、ほどおっしゃったのですとか、、ですとか、とかもしていますので、そういったなでののことを、こちらからのにえて、していくということはしていきたいとっております。

【】

から。

【】

のです。そのようにとかめてやっていただくのはありがたいんですけれども、にしてはのです。ですので、のへのきかけということをまずにやっていただけたらありがたいかなといます。はのもにがったときにきますけれども、がなくなって、もひどいだっていうもあるので、でやれること、でやれること、ができることっていうことをして、どこかがやるのではなくて、みんなでそこのをにえませんかっていうげかけをしていただけるといいかなといます。やるにしてもつにせるとおがかかりすぎます。おがないですので、きたおのいをするためには、してができるだろうか。については、だよねっていうふうになるかもしれない。もしかしたらのので、ここのところのはおいしますねってことになるかもしれない。かそういうふうに、にえていただけたらありがたいなといます。

また、のでは、がいのはのをえるとやすい、をえられる。もいくつかやってますけど、まだしてないですよね。せっかく、に、いいをされているので、そのさをぜひめ、いろいろなところにしていただけたらありがたいなといます。なので、がやってくださいっていうよりも、をおいしますっていういがにいです。

【】

ののにそういうができるだけりめるようなでごをおいできればといます。、おいいたします。

【】

のがのでていたんですけれども、ほど、ののに、どんながいをつもらしやすいようにというおがました。ものなので、できればをぶようなをけていただけるといなとうんです。は、をえようとしているわけではないけれども、をいにっても、さんについてをうことができないんです。だとか、さんがいらっしゃるをい、べるところに、しみをしていったとしても、、ってることがまずわからなくて、のについてけないので、をぶことができないんですよね。それで、そういうについてのところをか、えば、ほどさんがおっしゃっていたように、であれば、がをとしてやっているわけだから、をえるというところをがとしてやってくださるところに、のをするようなで、をするとかしてくださるとよろしいのかなあとうんですよね。がやりなさいとか、そういうんではなくて、えばそういうことをできるとおいできるようになるし、もじようにをんだりすることができるということになるとうんです。

それとほどのことがていましたけれども、をやっているでは、くのものするのも、えばにたり、おにたりっていうのも、でやってもらっているそうなんですけど、にんでいるにとっては、っていうのはがいもので、やってくださいとにってっても、なかなかでそれをやれるところがないんですよね。のであるはずなのに、うまくできないところにいるので、そこらをにやってくださいというのではないけれども、かほどていたように、がそういうをするよっていうのであれば、そういうところをにして、していただき、がらしやすいようになればいいなとっておりました。

あとはのことで、のことがていましたけど、でやるときとかをつけていただいたがにいいことだとうんです。それがないと、はので、をぶことができないわけだから、あったがいいといます。にしても、っていうか、でやるときに、とかはのでつけることができる、のでけることができるってなっているはずなので、そこをこういう人たちもいるからちゃんとたちのをんで、たちがとして、をれてもらえるようにっていうようなことを、とかからしていただけるともっといいのかなといます。

はのがいを「こうだから、をして」っていうのをすぐうつもりはないんですけど、できればりのたちがそれにがついて、をしべてくれるようなをっていければいいなとっているので、をここにしてくださいとはわないけれども、がかをしていけるようなを、はこのにけてしていただけたらいなといます。

さっきののなんですけれども、もうし、させてください。にきましたら、７からをしていると。はではないらしいんです。でもはまだのだけだそうで、のについては、がつくと。はなどもが入れられるようになるみだっていうことで、ほどがありました。よろしくおいします。です。

【】

いただきありがとうございます。のにけ、にけての、あるいはでのをもう、おいしたいというようなことだとけとめました。からがあがりましたのでおいします。

【】

です。ほどさんがにおっしゃられたのというところと、しするんですけれども、３のののに「のおよびがいのあるにるをします」とかれています。しますということで、どのようにはしているのかおきしたいがつ。もうつはがおっしゃられたように、、のだとうんですけれども、１のにをとかれていますが、これはではなく、６のがいののをするのので、、も、をぶをえてくださいということです。そういうことでしましたので、がうように、はろうのもの、はのものではなく、としてつをっていただきたいといます。です。

【】

これはいかがでしょうか。なかなかこのにえるのはしさがあるようにうんですけど。

【　】

のです。にするですけれども、ここでしていましたのは、にするということであります。そのでのですとか、あるいはがいにしての、そういったことをうののとしてをうということを、ここでというではしています。

【】

いかがでしょう。。このでのをいただいたようなもするんですけれども。よろしいでしょうか。ただにということがだということで、それをするでというごですね。

あと、いかがでしょうか。ちょっとになってしまうのですけど、、おいします。

【】

のです。たたきと、のについてのというのをさせてもらって、ちょっとのというか、ったことでもよければ。のはがこえません。なはです。ただ、えばなどでがついていると、そのがみれないときとかは、もしてっているというようなです。はにんでいまして、からのにでっています。、に、のなんですけど、でがあったみたいでがまってしまったんですよね。そのまったがわからないから、「かないか」とのにがきまして、もらなかったので、「もらない」ってしたんですけども、えばそういうちょっとしたのときにでもか、にわかるようなとかがあればいいんじゃないのかなとったりもしました。というのは、こえるにはおそらくのから、「ただいまがてます」とか「ただいまので」とかっていうがあるがあるとうんですけど、そこってこえないとかのにはわらないがいですよね。そういうとこもちょっとやっぱりだいぶよりはくなっているといます。はにまでかないとがられないとか、でべても、とかでべてもわからないとかっていうのはあったんですけど、もうちょっとしてできたらいいのかなっていうふうにちょっといます。だいぶくはなっているんですけど、まだまだは、できるんじゃないかなっていう、ちょっとだけ。

【】

ありがとうございます。とかきなだけじゃなく、のでながあるということをにいたをおいしたい、してほしいということですね。ちょっとがてしまいましたけれども、、にしていただくということでよろしいでしょうか。あとも、よろしいでしょうか。

【】

のです。についてれているがかてくるんですけど、なのか、がなのか、あるいはさらに、となるをしてのこういうのなのか、というところはどうもみにくいなとじましたんで、そこの言葉、やがかなとじました。

【】

よりにき込んだがががるというふうにこえたんですけれども。

【】

どうもうとえばめるんですけれども、にしてののとしてをれているところなのか、ほどもかおがているのたちののにをれているのか、となるたちにけてのなのかっていうところがもうちょっとはっきりしたがいいかなとじました。

【】

ありがとうございます。これからのきぶりをめていくでのなごだといました。、されましたが、かでもでもよろしいんですけれどもおいますでしょうか。

【】

えりものです。にこういう、めてさせてもらいました。いろんなのごいただいて、もこういうをかるとして、いろんなでのになりました。のからも、にはいと。そのりでして、でいくと144ですかね。えりもはそのつとして、からで４かかります。にのでして、ほどからいろんなのとか、そういうのもしたらどうですかっていうがありました。にもそういうがあれば、めたいなというようないでおりました。

はこのとちょっとはそれるかもしれませんが、この３までえりものとしてどものときから、にがいをったがおりました。それはのがいのでしまして、のからですね、のがえりものにしてくれました。にはですね、のがいということでほとんどこえない。もくすることができないっていうか、もはですね、はのも、はったんです。のとしていているものですから、らないでにたときに、はにしかけるんですね。ところがそのにすると、りりでするんですけど、あまりにがいのがいなかったもあって、なんとなくはおいにをいながらだったんですけど、もうそれがおいにしうと、ぜんぜんなく、、りり、そしてのでができたんです。そしてそのもにがるくですね、とになっていろんなしてくれました。にそういういでいると、がいがあるとかないとかってなくですね、がめば、のこののもがしてもらえるんだというようないでおりました。

そしてほどのからですね、というがました。にそのりです。だったり、しにがいがあるとか、こういうですのででしているがあるんです。そのにしても、やはりのがどうしてもで、はそういうだということはっているものですから、えばまでにすると。そうするとりがですね「なんであそこだけ」というになるんですね。ですから、そのもめてですね、もとか、とにかくそういうがいたらのにしてくださいと。そうすると、もきやすいんですよ、というようなで、さいだからできる、いろんなのはしています。ですからにと、もにさせてもらって、いろんなをかせてもらったんですけど、にになるなというようないで、なをかせていただきました。

にとして、のとして、しない方になってしまうかもしれませんが、しでもそういうのにったのを、めていきたいなというのはっておりますので、これからもにごあれば、なくってもらえれば、としておそらくというはできるんじゃないかなというようないでおります。そういうことで、またこれからもつよろしくおいいたします。

【】

ありがとうございます。、そしてえりもののから、にいおをいただきました。どうぞこれからもよろしくおいします。が、のであまりうまくいってなくてを１０しております。しありません。でのをてということにさせていただきます。、おれでした。ありがとうございます。をへおしします。

【　】

のです。３のですけれども、１のでおらせしたりですが、でのをしております。９のから１０をめどにをいたしますので、どうぞよろしくおいいたします。でございました。

、はにありがとうございました。、さんからいただいたごは、のをめていくでのにさせていただきたいとえております。きき、どうぞごをおいいたします。これをもちましてのをいたします。はおれでした。ありがとうございました。